

## 「市長と語ろう！」意見交換会（タウンミーティング）

### 【地域別】女性総合センター【概要】

令和2年11月28日（土）

10時30分～11時30分

場所 女性総合センター

## 1 開会の挨拶

（市長）

おはようございます。市長の清水でございます。今日は土曜日ということで、皆さん方にご案内を申し上げておりましたけれども、毎年私もタウンミーティングというかたちで、市民の皆さんから直に様々なご要望やご提案をお聞きして、少しでも市政の充実度を高めていきたいという気持ちからこのような会を催させていただいています。また、今日は随分冷たい風が強く吹いている中、お越しいただきまして大変ありがとうございます。

立川市は、昨年市長選挙がございました。4期目の当選を果たさせていただきましたけれども、その中でも今後の立川の行く末について、「にぎわいとやすらぎの交流都市 立川」と銘を打ちまして、様々な施策を展開しております。

「にぎわい」と「やすらぎ」が相反するのではないかというご意見もあるわけですが、「にぎわい」の中でも、芸術でありますとか美術館のような文化的な面での充実をしっかりと図っております。立川へは相当数の来街者がいるわけですが、そういう中でも心を癒していただけるような、そんなまちづくりをすることによって、多くの方々に安心していただきたい、将来に希望を持っていただきたい、そのような気持ちで市政運営をしています。

特に、「やすらぎ」の関係の中では、GREEN SPRINGS（グリーンスプリングス）という地域が立川駅に近い場所にあります。このGREEN SPRINGS（グリーンスプリングス）の中には、2,500人収容のホールもありますし、素晴らしいホテルもございます。そのようなかたちで、食べること、見ること、それから心を癒やすこと、これらの推進を日々行っておりまして、立川のやすらぎのある雰囲気をつくるためのまちづくりには非常に大きな力強い応援をいただいていると思っております。

また、市の経営・管理には油断は禁物であります。特に立川のような鉄道が充実し、そして日々大勢の来街者の人たちに満足して1日を過ごしていただくためには、それなりの硬軟取りそろえたまちの風情が一番ご納得いただけるのではないだろうか、こんな気持ちを私は持っております。そんなまちづくりを今後も市民の皆さんのアドバイス、お力を借りながら進めてまいりたいと考えています。

本日は11時半までということで限られた時間ですが、ぜひお考えをお示しいただければありがたいと思います。限られた時間ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 2 意見交換

（参加者）

コロナ禍の中で開催していただきまして、ありがとうございます。毎回出席させてもらっています。

防災関係についてですが、今年台風もなくして幸せというか結構な話だったのですが、数年前に西砂ではかなりの被害がありました。市長の地元でもかなり被害があったと思います。

私は富士見町団地に住んでいるので、多摩川が越水したときにはかなり厳しい状態になるかと思えます。市の防災マップでは、色分けで50センチ以下とか、3メートル以下とか5メートル以下というような形になっているのですが、なかなか皆さんに関心が薄いところがあるのです。

市には、測量部門があるので、できれば道路の高度、標高を測定していただければ、ああこの道路はどっちに水が流れるんだとか、例えば多摩川であれば、堤防の高さと比較してうちはどれぐらいの低さであるんだとか。そうするとこれはやばいなあと、越水があればやばいなあとかということが分かるわけです。

この防災マップだけでは、なかなかその辺まで皆さん認識ができないので、時間をかけても結構ですので、測量部門が暇なときに逐次計画的に立川市の水害の多いようなところについては、そういう道路的なところを測量していただければ、関心も高まるのかなと思っておりますのでよろしくお願いします。

それと、簡単なのですが、立川駅の西側、高架があると思いますが、下がトンネルですね。あそこ綺麗にしているのですが、よく落書きがあるので、これを防止する、私もあそこを頻繁に通るのですが、ちょっと美観上問題があるので、せっかくきれいに描いていただいたものが、すぐ汚されるというのはいかがなものかと思うのです。これについては何らかの対応をお願いできればありがたいなと思っております。

以上です。

#### (市長)

ありがとうございました。防災マップは、地図の部分を見ていただきますとはっきり分かるのですが、多摩川に接している地域がほとんど肌色やピンク色で塗ってあります。これが、いわゆるちょうど南口の崖線、崖です。崖を境に白地のところと肌色のところに分かれてしまっている。要するに、この肌色からピンク、オレンジに塗ってあるところは、立川でいざというときに最初に水害等が起きやすい、あるいは崖崩れが起きやすい場所であることを示しております。

ですから、いざというときの避難をするときも、これは最重要な場所であるということで市は認識しております。

それから、ここにお住まいの皆さんにも、この場所がいざというときにはかなり危険なエリアであるということは自治会などを通じながら、周知していかなくてはいけないと思っています。

#### (参加者)

標高と堤防との差が実際の数字で分からないとなかなか皆さんの認識がいかないのですが、できればこのエリアだけでも、今特に測量していただいて、堤防はいくら、自分の家がいくら、どれくらい差があるよ、その辺のところをお願いできればいいなということであります。

(市長)

あなたのご自宅は災害の特別区域ですからそれをご承知おきください、という形になるうかと思うのです。ありがとうございました。

地下道の落書きについては、長年の頭の痛い話です。落書きを消せばまたすぐ書かれるということになるものですから、いずれにしましても、市としては根気よく対応していかなければならないことだということは承知しております。

(参加者)

栄町に住んでいる者です。

今コロナの時期で、立川市として、国とまた別に1万円の給付金をいただいたというのは覚えているのですけれども、何か今後、立川市として力を入れていることとか、対策を打っていかみたいなきょうがありましたら教えていただきたい。以上です。

(市長)

コロナ対策というのは、実は残念ながら決め手が今のところないのです。マスク着用の励行ですとか、あるいは混雑しているところへ出かけないというのは、一人一人の方々にお願いをするしかない。そこら辺が一番この対策の難しいところでございますけれども、繰り返し感染予防のための最低限のマナーは守ってくださいと、お願いをしていくしかないのかなと思います。

しかしながら、立川市で何もしないということではありません。立川市だけでは解決できるものではありませんが、国とともに対応をしていくことを徹底していきたいと思っております。

私事になりますけれども、私も今年の2月から宴席には1回も出ておりません。そんな具合に私も一生懸命やっているつもりであります。今後もコロナ対策については、様々な手法を用いながら、ぜひ市民の皆さんにもご理解を頂いて協力していただければと思っております。

本当に何とかしろと言われても何とかできないのが今の現状でございます。ワクチンが提供されれば、早急にワクチン接種をしていただきたいと思っております。そのためにはそれなりの資金が必要であるということは承知しております。

そんな方向で現在のところは進まざるを得ないということを、ぜひご理解いただきたいと思っております。

(総合政策部長)

市独自の施策については、市長が申し上げたとおり、なかなか感染対策はこれだという決定打はないのですが、やはり多くの方がPCR検査、体制はどうなっているかということとは、ご心配されるころだと思っております。

幸いなことに、立川市内は医療機関が多くございます。PCR検査についても、10件ほどの医療機関で今対応できているということでございます。

ただ、市といたしましても、土日はなかなか検査体制がとれないところがございまして、秋から市独自のPCR検査というのを立ち上げて、土曜日はそちらのほうで検査を受けられるというような体制を取ったというのは、市の独自策のひとつであります。

それとともに、テレビのニュースなどでも医療体制が逼迫をしているという報道がありますが、それについては、ふるさと納税などの手段を活用した中で、市民の方、または市内の企業・団体からご寄附をいただき、市内の医療機関等にコロナ対応の事業に充ててもらおうという体制を取っております。そういったことも市独自の施策となっております。

そのほか、コロナが感染拡大すると、市内の経済のほうも逼迫するということがございます。そこは例えば家賃助成のような制度で、市内の事業者さんに何とか踏ん張っていたきたいというような支援を行っていたところもございます。

以上でございます。

#### (参加者)

錦町に住んでいる者です。

私自身は、立川市に対して非常に満足しております、20年以上住んでおります。駅前も便利ですし、郊外に行くと、のどかさも感じますし、昭和記念公園のような自然もあって非常に満足して、家族と共に住んでおります。

ですので、立川市から離れたくないなと思っております。一方で、私の個人的なことです。勤務先が東京都港区になっておりまして、毎日通勤が片道1時間40分かかっている状況があります。

これは質問ではなく、希望といいますか、今後の期待なのですけれども、多摩地区、立川を中心にどんどん就業の機会、23区と条件等の劣らないような就業の機会が増えてきて、この付近で、立川を出なくていいようなかたちになっていけばよりいいかなと思っております。

以上です。

#### (市長)

ありがとうございます。私は、「にぎわいとやすらぎの交流都市」ということで立川のまちづくりをしていきたいと思っております。

実は、各都市が人口減少し始めています。しかし、おかげさまで立川市は、人口が減らずに、少しずつですが、増加している状況にあるのです。

そういった状況から判断しますと、おおむね今のところ、住んでいただける方が増えてくるということは、合格かなと思っておりますが、そうは言いながらも、様々な課題はあるわけがございます。このタウンミーティングのような意見交換の場もありますし、できるだけ市民の皆さんの直接の声を聞きながら、今後も取り組んでまいりたいと考えております。ありがとうございます。

#### (参加者)

柴町に住んでいる者です。

今さっき話題になったコロナの件で、その対応に当たってくれている医療従事者とかへの市独自の支援、金銭的な支援や、もしくはコロナ対策以外にも、介護従事者とかに賃金が増えていないことが問題になっているので、そういうのは市独自で対策というか、支援策というのは何かあるのでしょうか。

以上です。

(市長)

このコロナ対応に関しましては、かなりの部分、医療関係者の皆さん方にもご参加をいただいております。詳細につきましては、担当からお話しさせていただきます。

(総合政策部長)

今、医療従事者への支援、介護従事者への支援ということでご質問をいただきました。医療従事者への支援ということでございますが、先ほどのお答えと少し重複してしまいましたが、ふるさと納税の手段を使った市民の皆さんからのご寄附、これを医療機関のほうに充てさせていただくということで、それが給与になるのかどうかというのは、それぞれの病院等の考えになると思います。コロナの対応でなかなか経営的には厳しいというところの支援に充てていただきたいということの支援策となっています。

それと、介護従事者についてですが、高齢と障害、それぞれの例えば通所施設などもこのコロナの影響をかなり受けております。そうした事業所に対して、一時的でございますが、30万円の支援を市として独自にさせていただいたところでございます。

直接的な支援となりますと、そういったところが挙げられます。

以上でございます。

(参加者)

先ほどからコロナの関係でいろいろと話が出ております。立川市も今大体、コロナの感染者が最近1日2人ぐらいになっているかと思っております。以前は0.5人ぐらいだったかなと思うのですが、かなり増えたのかなと。

これの対策が難しいのは、市長からもお話があったように、経済と対策ということでその辺が非常に難しいところがあるわけです。これがやっかいなのは、発症の人が実際はもつといることで、そうやってそれぞれが全員、自分が感染しているという認識でないと、非常に対策も難しいと思います。

経済界のほうも、飲食店ですとか、経営が大変だけれども、その辺のところを自覚した上で、それなりの対策をしていただかないと、コロナの防ぎようがないかな。そういう非常にやっかいなもので、しかもこれは重症化すると大変な後遺症が残ると聞きます。インフルエンザであれば大した後遺症ではないのだけれども、コロナについては後遺症が非常に厳しいということがあるようです。

今、市民の感染者が増えたことによって立川市内のどこでどういうふう to 増えているのかなというのが市民の1つの不安なところであるのではないかなと思います。これを、年代別なものであるとか、地域がどうだったか、その辺のところがある程度分かれば、安心だと思っております。しかし、今度は反対にそれが安心になって、気分が緩むということになると、GOTOトラベルの場合と同じように、皆さんが安心感を持ちすぎて、感染者が急に増えていく可能性があるということは非常に厳しい面があるのだけれども、その辺のところ、立川市では何らかのかたちで発生状況についての分析というか、その辺のところはご存じか、発表することが可能なかどうか。

むやみにやっても今度は反対にさっきも言いましたように皆さんが安心感を持ってしまふとちょっとまた問題があるわけですよ。その辺のところをお聞かせいただければと思

ます。

**(市長)**

このことに関しては、私どもも非常に最初から気を遣って扱ってまいりました。今、おっしゃられたとおりです。うっかり発生場所や発生人数などを明らかにすると、混乱が大きくなるのではないかと。これは大変危惧されることなのです。

今までは、2人とか3人に感染の疑いがあるというようなケースが一番多かったのです。それが、10人とか20人規模に増加していく様なことになると、これはもう黙っているわけにはいかないの、情報を発信して、地域総がかりで感染対策をしなければならないと思っております。しかし、現状はそのような詳細な情報まで公表するような深刻な状況にはまだなっておりません。そのため、原則今までの基本的な考えでやっていきたいと思っております。

**(総合政策部長)**

今お話をいただいたとおり、全国的にコロナの感染者数が増えている状況の中では、立川市内でも明らかに1か月前とは違う数字が出ています。最新では、今陽性となった人は累計で193人。療養を終了した方が164人いて、療養中の方が29人ということでございますが、療養・入院中の方も、これは前月あたりからだいぶ増えているという状況でございます。

私どもは、ホームページを中心に市内の感染状況について市民の皆様に情報提供しております。全て、東京都の機関である多摩立川保健所から頂いた情報をホームページに掲載している状況でございます。

その中では、今ホームページに掲載している状況は、新たに感染した患者数、患者数の累計、入院・療養中の患者数、退院等者数の累計、それと性別や、年代で何人出ているということ、保健所から知らされていることについては全てこのような形で情報提供しております。

市長がお話した10人、20人というクラスターについては、これは今のところ保健所から連絡はありません。おそらくクラスターが発生すれば、情報を精査した上で市民に対して情報の発信をしていく、そのような考えでございます。

以上でございます。

**(参加者)**

今回、市長と語ろうというのは初めて参加するのですが、正直なところ、参加人数がちょっと少ないなと感じました。これは何だろうな、立川市を運営していく市政への関心の低さという点なのかなと思ってしまいました。

自分は今回、市から届いた案内で来たのですが、世帯の数分届いたはずなので、市民の関心が低いのかなと思いました。

**(市長)**

ありがとうございます。今年度のタウンミーティングは、コロナ禍での開催ですので、そういうことが少し影響をしているのではないかなと思います。

コロナのことに关しましては、様々なメディアが非常に専門的なことまで情報を出して、皆さんも一般の出来事に比べて詳しい知識をお持ちなのではないのかなと思っております。私の小学生の孫でさえも、クラスターだとかパンデミックだとか言うくらいですから、一般的な情報の中で、かなり警戒をされているのでしょうか。そういうことも、今回の参加人数に対して影響があるのではないかなと思っています。

ただ、多くの方々に直接参加の案内をしていた割には、この参加人数をみると、残念ながらまだまだ関心が低いのかなという感じを今持っているところです。

#### (参加者)

今話を聞いていて、私もちょっと思ったことがあります。私も郵便で届いた案内を見て参加しました。私は初参加だったのですが、通常開催だと普段どれぐらいの参加人数であるのか、また、どういう内容を話されているのかというのが気になりました。参加者がもしも自分一人であったらどうしようという不安感も持ちました。

一応、立川市のホームページやツイッターを調べてみまして、今回4回地域のタウンミーティングがあると知り、今回が3回目の開催だと思うのですがけれども、1、2回目の様子とかどこかにあがっていたり、こういう感じでやりましたみたいな写真とかあったりするのかなって思ったのですが、何もなかったのです。

そういう開催した結果といいますか、こんな感じでしたとか、こういう意見が出ましたとか、皆さんの関心はこういうことがありましたなど、何かそういう発表の場とかがあったら良いなと思いました。私が知らないだけだったら申し訳ないのですがけれども。

#### (企画政策課長)

事務的なところですので、私のほうで答えさせていただきます。

恐らくお手元に届いたのは、無作為抽出といって、住民基本台帳から無作為に選んだ方にご案内をいたしました。この手法は、市でも随分前から行っているもので、いわゆるサイレントマジョリティー、近年市政になかなか声を出さないという市民が多くなっているといった課題がありまして、そのために一方的にお送りしたということなのですけれども、今回ご参加いただきましてありがとうございます。

タウンミーティングにつきましては、毎年度対象者別を含めまして8回程度実施しておりますけれども、そちらが終わった時点で市のホームページには質疑の関係も含めた議事要旨ということで公開しております。

その際には、若干会場の写真なども貼って分かりやすいように工夫をして公開しておりますので、これからになりますけれども、過去のものは今も公開していますので、ぜひ今後も見ただけたらと思います。よろしくお願ひします。

#### (参加者)

1点要望ではないのですが、ちょっと自分自身分らないところがあって。もしお知恵であったり、データがあれば教えていただきたいということがあります。

私、町内会に入っております、錦町5丁目なので親和会なのですけれども、かなり年齢構成が上の方が多くて、若い方がほとんどいない状況になっております。私は30代なのですが、最年少でして、ほとんどは50代以上の方で、40代の方も比較的ボリュームゾー

ンとしては少なく、30代もまばらで20代の方もあまりいないのかなと思っております。

ここからは何の知見もないのですが、全般的にこういう町内会とか自治会の活動は、高齢化しているという傾向があつたりするのでしょうか。

というのと、若い世代の方はどのような傾向であつたり、関心なのかなというのが単純に分からなくて、もし教えていただければ幸いです。よろしく願いいたします。

#### (市長)

概略を申し上げます。自治会活動を中心に考えますと、年齢層は非常に高いです。大体60代から70代ぐらいの方々が自治会の会長をやっている方が多いんですね。どこに行っても多いです。

ですから、働き盛りの方だと、少し自治会の仕事の内容が細かくてたくさんあるものですから、なかなか役員にはなりづらい。メンバーにはなるけれども、役員にはちょっとなりづらいという価値観をお持ちの方が大部分であろうかなと思います。

#### (総合政策部長)

今お話があつた通り、自治会というのは立川市の中でも貴重なコミュニティーの場でございます。市長が申し上げたとおり、やはり役員の高齢化というのはどこの自治会、町会でも同じ傾向がございます。それとともに、加入率も年々低下をしてきていて、今までは何とか40%台をキープしていたのですが、ここで落ちてやはり30%台に入ってしまったということで、住民の方の自治会離れというのは、少し進んでいるのかな、高齢化と自治会離れというのは、市としても課題だと考えているところでございます。

なかなか特効薬というのはございません。ただ、市のほうでも、例えば自治会未加入世帯の子どもさんも参加できる行事への支援という自治会の新たな支援策を設けて、それで今まで自治会に加入していなかった方の加入を促進していくという新たな支援策も今行って、何とか盛り上げたいと思っているところでございます。

以上でございます。

#### (参加者)

栄町に住んでいる者です。自治会活動を担っている者から少し関連してお話し申し上げます。

私は町内会の役員をしていて、71歳です。今日たまたまうちの自治会の役員会がありまして、私は主催するほうなのですが、出席するほとんどの方は70代、80代、要するに社会的な活動を終えられた方、リタイアした方しか、なかなか役員のなり手がいないというのが現状です。

地域自体に若い方は、それなりにいるのですが、やはり事業とかいろいろ生産活動に従事している方は時間的にちょっと難しいということで。

何が起きているかと言いますと、今、話があつた子ども会の支援とか、子どもがいなくなったわけではなく、少子化といえども子どもはある程度存在します。ただ、その子ども会を組織して運営していく役員の手が足りないというのが現状です。

例えば、子ども会、うちの中砂自治会で言いますと、40~50人いるのですが、子育て中のお母さんにとっては、例えば子連の会議に毎月出る、自治会の役員会にオブザー



バーで出る、そのほか行事がいくつかあって、もうほとんど出てくるのは役員のお子さんだけで、大人がほとんど。1人の子どもに対して4人ぐらいの大人の比率です。そういうふうな行事の形態しか取れません。

周辺の自治会で400世帯、300世帯という大規模な自治会も子どもはいるのですが、自治会傘下の子ども会というのは消滅というか、活動していません。

うちなんかは、とりあえず役員がいなくても、連絡係を置いてもらって、自治会のイベントのときや子ども会のお祭りなどには出てもらうようにしています。

何が立川市で進行しているかという、これ立川市だけではなくて任意で自治会加入ということになりますと、ごみも個別の家庭ごみになりましたので、特に不便はない状況です。ただ、災害が起きた、いろんな風水害、地震、そのほかコロナ禍も1つの災害かもしれません、災害の後は自治会への加入率少し高まります。それで災害が収まって、半年や1年たつと、また加入率が低下してきます。その繰り返しです。

今、加入促進活動をやっていますけれども、なかなか一般の方に広がらないというのが現状で、この辺を今日また役員会で皆さんどうしたらいいか話し合うのですが、それを話し合うメンバーが押し並べて70代ぐらいの方々ばかりなので、どうしたもんだと。

要するに、自治会に加入している人たちがどうしたらいいかと話し合うだけではなくて、加入していない人たち同士の間でどういったものがニーズとしてあって、どういう自治会だったら加入してもらえるのか。

あるいは、自治会が古ければ、どういった組織だったらみんな参加しやすいイベントになるのか。その辺がポイントだと思います。

これは、市だけではなくて、我々サイドで考えてデザインして市に提言・提案して、それを実現していただくと。それぐらいの構想力を持った市民が揃っていることによって、現状は改革できるのかなと考えています。

以上です。

#### (参加者)

タクロスの駐輪場を改修していただいているわけですが、以前ちょっと苦情を市に申し上げました。タクロスのほうにも苦情を申し上げていて、改善は近くされるというふうには言っているのですが、何て言うんですか、非常に自転車が密集しているので、停めづらいわけですね。

要するに使いやすい形に改善してほしいという要望を広聴制度でも言っているはずなんですよ。その辺のところ、何か計画ですとか、タクロスのほうの現状での改修計画はどのようなになっているかを伺えればありがたいなと思います。

#### (総合政策部長)

駐輪場に対するご提案をいただき、ありがとうございます。自転車の間隔が狭くて、1台おきに高く低く高くと交互に駐輪すると、ハンドルがつかえてしまって、停めづらいということでしょうか。今のところ計画としてラックを取り換えるということ自体は、はっきり言って私も聞いてはいないところでございます。

ただ、駅周辺、市のほうも自転車があふれないように駐輪場をつくったりしている中では、比較的その中でもタクロス駐輪場、これはベルトコンベアで上に上がるといことが

影響しているのかどうかですけれど、比較的奥のほうは空いています。目いっぱい利用されている中で自転車の出し入れがし難いという状況ではないので、そう感じた場合は、少しゲートから離れてしまいますが、奥のほうに行くと比較的空いておりますので、そんなご利用をしていただければと考えているところでございます。

以上でございます。

#### (参加者)

ちょっと関連してですね、その前に、要するに利用者が少ないという問題もあります。駐輪場の看板が見にくい形になっているので、それを改善したらいかがですがということも提案したのだけでも、通路の邪魔にならないように配慮しているとのことでした。やはり、皆さんが使いやすいように、せっかくスペースがあっても使っていなければ意味がないので、皆さんが使いやすいかたちになるように、お願いできればなと思っております。

以上です。

#### (総合政策部長)

案内板について、タクロスの駐輪場が比較的空いているという状況につきましては、ほかの立体ではない駐輪場のところにタクロスの駐輪場のこともご案内をさせていただいて、なるべくそちらのほうに、混んでいる際は誘導するような策を採っております。

これからも、皆さんが駐輪に困らないような形での案内というのは気をつけてまいります。ありがとうございます。

### 3 閉会の挨拶

#### (市長)

今日は皆さん、ご協力ありがとうございました。ほぼ全員の方々にご発言をいただきました。大変ありがたいなと思っております。ありがとうございます。

今日いただいた内容につきまして、できるだけ実行に移すことができますよう努力をしております。

どうも今日はありがとうございました。